

広報
11月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 坂田 智
編集 広報部



「カンボジア・アンコールワット」

時の視点

70周年記念座談会
(シリーズ全3回の第2回目) 2~5

時の話題

東京都資源回収事業協同組合との懇談会
直納部主催海外視察研修
「ベトナム・カンボジア」レポート
文京支部 山下辰彦 8~11

就任の挨拶

理事 台東支部 近藤達也 11
理事 山手支部 徳永裕司 11~12
集荷部長 山手支部 鈴木邦浩 12
広報部長 足立支部 高橋宏明 12
青年部納涼会を開催
足立支部 新井正樹 12~13
東資協青年部との懇親ゴルフ
城北支部 工藤嗣人 13

清風会について

清風会会長 近藤 勝 13

TPICO維持更新研修会 14

支部便り

山手支部研修旅行
山手支部 中谷浩康 14

組合員の広場

「ながら運転」反則金3倍に
広報部長 高橋宏明 14

組合員のメリット 14~16

支部スケジュール 16~17

お知らせ

「12月会議」「古紙価格」「組織変更」 17

会議概要〔9月・10月〕 17~22

編集後記 広報部副部長 辻 忠敏 22

広告 23~28

時の視点

70周年記念座談会

『この10年を振り返って』
シリーズ全3回の第2回目

座談会出席者：

美濃紙業(株) 近藤 勝元理事長、(株)ノボル紙業
近藤 昌和副理事長、(株)グリーン 齋藤 浩二理事、
(株)松井紙業 松井 宏隆元副理事長、
(有)坂田亮作商店 坂田 智理事長
司会 / (株)丸十商店 高橋 宏明広報部長

2019年8月2日、於:大志満 椿壽(有楽町店)



広報9月号より続いて・・・

高橋：有難うございます。今までのお話で、やはり紙がペーパーレス化により減少してきている。洋紙メーカーも洋紙の生産を中止し、大手メーカーでも代わりに段ボールの方にシフト転換しているという話がありますが、その辺を含めて、齋藤理事、どう思われますか。



高橋 広報部長

齋藤：今のご指摘ですが、私はこの業界に入ってもう50年過ぎました。その間、我々としても上向きだったのです。だけど、今の話に続くところは、上物はもうどちらにしても我々は親戚に同業も多く、ぶつかるところも多いので、それだったら先々裾物の方が伸びるかなということで、外へ行った。

特に今日のテーマである、10年間の歩みの中では、一番やはり変わった事と言えば、集荷の方達。私が気に掛けるところは、特に集荷の方達が非常に難しい状況になって来たという事が、今後、パイが少ないところ、どうして折り合って仕事をしていくか、そういう問題に関してはこの組合に入って、本当に逆に勉強させられたというか、問屋業しかやっていない自分の立場からすれば、色々な意味でプラスになったと思っています。

それから、段ボールと、洋紙と上物の問題に関しては、これらも先程松井さん言われましたが、恐らく世界的にも段ボールは伸びていくだろうと思います。しかし、我々の今の置かれた立場と言うのは、やはり今の市況もそうでしょうが、なかなか、いわゆる米中の問題、貿易戦争に端を発して、逆に国内にむしろ、ものが停滞されている。やはり、我々として価格は別にして、いい流れを作らないと。日々発生が多いものを扱っている訳ですから、さらに難しい状況になるだろうと思っています。それと、もう1点は、この10年の中で一番大きく変わったのは、いわゆる問屋の自家回収です。それが果たして、いいのか悪いのかという問題を東京協組に入ったことで考えさせられま

した。かなり集荷にダメージがあるのだからと、間接的に。そのような事を我々とする、知恵を絞りながらも、うまく乗り越えないと、東京協組の集直一体の組合のイメージからしてもよくないだろうと。今後そういう意味合いでは、その辺について微力ながらも色々案を出していきたいと思っています。



齋藤 理事

高橋：有難うございます。今のお話をお聞きしていますと、やはり東京協組というのは集直一体という形なので、問屋、集荷、皆さんが Win - Win の関係にならなければいけないと思います。その中で、組合としても集荷の方向けに、古紙リサイクルアドバイザー制度や、適格事業所や、TPICO、これは個人情報で ISO 並びにプライバシーマークと同等になるような資格ですが、組合としてはやってきています。坂田理事長、事業部長時代を含めてその辺の事を色々、組合活動で何かありましたら、お願い致します。

坂田：私は組合に入って 25 年位、業界に入って 44 年位です。組合に入った時は右も左もわからないような状況でしたが、少しでも組合の力になれるように、事業部長時代も色々なことを試みながら同じような時期を過ごさせていただき、皆さんのお知恵を借りながらやってきたと思います。組合員の減少がありながら、当組合が存続できているというのは、やはり皆さんが、知恵を出し合って、組合の事業活動、

要するにコミッションとか、資金となる様な活動を色々知恵を絞っていただいたお蔭で、今までやってこられていると思います。全原連でもお金がないという事で、会費を上げようという事も出ている最中です。昔は 400 社ぐらい東京にもあったようですが、今は 158 社になって、生き残って来られたのはやはり皆さんの力があってからだと思います。色々な事、これだけの事業をやっている組合は他にないのです。それだけ皆さん一所懸命やっていただいて。それから理事会でも、今は、常任理事会は 1 時間ですが、以前は 1 時間半、この 1 時間半を本当に有効な形で毎回、毎回討議していただき、私も大変勉強になりました。皆さんご存知のように去年の 10 月に前理事長の赤染さんが体調不良で、私になった訳ですが、私は組合に入ったときから一度も理事長になるとは思っていなかったです。皆さん大きな問屋さんの社長が、歴代の理事長をやられて、まさか 65 歳で辞めようと思っていたのですが、辞められなくなったというのがびっくりで、こんな時代に理事長に推されたのも運命と思い、これからあと 2 年、頑張っていこうと思っています。事業はこれからも一つでも増やしていければいいと。有意義な組合のために資金となる事業を皆さんと知恵を出し合って、頑張っていきたいと思います。



坂田 理事長

近藤（勝）：今の事業ですが、ここにきて関東商組が、ガソリンの共同購入を定款変更してやり始めました。その意味では、東京協組は何年前からやっているのですか。

坂田：相当前からですね。

近藤（勝）：ガソリンの共同購入、それから ETC カードとか、かなり早くから取り組んで積極的にやっているからすごいと思うのです。そのメリットと言うのはかなりありますね。



近藤 元理事長

高橋：その他、プレス機のオイル交換もやっています。事業としては組合の皆さんの、お役に立てるかなり多くの事をやっているとは思いますが、ただ、そう言うお話の中で、組合員の減少というのが、なかなか歯止めが掛からない。10年前、平成20年には230社あったのが、現在、158社と言うことで、やはり、10年で80社近く減ってきていると、なかなか色々な案を出しても厳しく、先ほど賦課金の問題が出ていましたが、ちょうど10年前、賦課金を500円上げると言う事で近藤理事長の時代が大変な時代でした。

近藤（勝）：そう大変でした、本当に。

高橋：その前、皆川さんが理事長時代も上げのが大変で、更に10年前近藤元理事長の時に500円上げて、最低が3,000円でしたか、確か。今のところ何とか上げずに頑張ってきていると思います。それも組合

事業のメリットが大きいのではないかと感じています。

その他にどうでしょう。近藤元理事長に聞きたいのですが、組合員が減少する中で賦課金を上げて、色々ありましたが、一番良い時代でもあり、大変な時代で60周年記念誌にも載っていましたが。

近藤（勝）：産業古紙の発生が急減し、廃業された同業者もいて、そういう中でも何とか組合のお付き合いは続けてくれている方も大勢いたわけです。そういう方は組合の会費を値上げする、それが切掛けで、もう辞めようということになってしまう。これも問題、大変なのですが、そうは言っても、会員が減ってくると組合の運営費が足りなくなってくるので、泣く泣く止むを得ずと言うことでやったのですが。その時残ってくれた人は今も残っています。

高橋：これは、あの時上げていたから良かったという事じゃないかと。

近藤（勝）：事業収入があっても組合事業をやると、どうしても足りないのだからやむを得なかった。

坂田：500円上げる大変さを当時の近藤理事長は、各支部を回って説明いただいたという事がありました。本当は、500円は子どものお小遣いです。それに反対される方は自分の代で廃業だと、ビルを建てて家賃収入で暮らすのだと、そういう感じの方です。

近藤（勝）：実際その後、直ぐ誰か辞めたかという、辞めなかった。一応みんな理解してくれた。文句は言うけど、まあ、しょうがないかと。

坂田：それから、組合に入っていない不安という

のもあると思うのです。お客様からどこの組合に加入しているかとか、組合からの証明が出るか、とかです。古紙の証明書が出るとか、いろいろメリットはあります。

近藤（勝）：広報誌を楽しみにしている人も沢山いますから。そういう情報が欲しいという事です。

高橋：組合事業という事では、今までは上物の共販輸出だけだったのを、何年前でしたか、裾物の共販輸出もやるという事で、それが組合としての収入増になりました。その辺、齋藤浩二理事はどうでしょう。直納部として苦労されたと思うのですが。段ボール、雑誌の共販輸出2品をやるにあたって。

齋藤：当然、メーカーさんにとってそういう事は困るという事は目に見えて分かる訳ですけれど、ただやはり事業ですから。組合として必要であれば、やはり上物だけに限らず裾物も、特に関東商組はその前にやっている訳ですから。そういう面ではやって定期的な収入を得るのが一番大事な事だと思います。それから、先ほど近藤元理事長があちらこちらの組合支部に顔を出したというお話がありました、先日、台東支部で話に出まして、最近理事長は来ないのかって言われて(笑)。やはり、皆さんが定期的に支部に顔を出されて顔を知られた方がいいと思います。そういう面では確かに近藤元理事長はあちらこちらに回られて、皆さんにほとんど顔を覚えられました。

近藤（勝）：そうです。新年会として合同新年会がありますが、忘年会の時も、時々顔を出すと良いのではないですか。

坂田：順番に呼んでいただいて。

高橋：話の中で近藤元理事長が組合費の値上げの時、各支部を回った。それが基礎となって、支部同士の交流会に発展していったと思います。ただ、残念なのが東京協組は10支部あったのが9支部になってしまい、中央支部が城南支部と一緒にという残念な結果になったのですが、なかなか支部員が集まっていただけなので、足立支部なんかは齋藤理事のいる文京支部、近藤（昌）副理事長のいる台東支部とか、あちらこちらにお声掛けをして支部会をやっています。その意味では支部間交流がまだ続いていると私は実感しています。



広報3月号全3回の第3回目につづく・・・

時の話題

東京都資源回収事業協同組合 との懇談会

[令和元年9月12日(木)午後5時30分～]

於) 上野・精養軒3153(サイゴースン)

出席者：東京都資源回収事業協同組合 13名

東京都製紙原料協同組合 15名

代表者挨拶

坂田 理事長(東京都製紙原料協同組合)

暗い話ばかりの中で、プロゴルフで澁野日向子が全英オープンで優勝しました。本日も又、新しい

記録更新をしたそうです。本日はお互い仕事をしていく上での仲間なので、どうやって効率よく仕事をしていけるか皆さんで協力し合い頑張っていたらと思います。

松本 理事長（東京都資源回収事業協同組合）

先ほど東リ協での会合で栗原理事長より、我々業界の先行きについてお話を伺いました。ここ20年来の厳しい時期に差し掛かって来たのではないかと思います。今の時代、資源をゴミ扱いにする事は難しいと考えられます。何とかリサイクルをつぶさないように、我々、回収業者と集荷や原料問屋さんが一体となって取り組まないと、リサイクル自体がなくなってしまう可能性があるように思います。それには、排出している市民や事業所の方へ現状をアピールして理解してもらう事が大事かと思えます。今日は意見交換をして、各立場で、その内容を説明していければと思います。



1. 古紙業界の現況（東京協組）

①古紙全般に関する現況「栗原 直納部員、全原連及び東リ協理事長」

昨年12月に中国の国務院は、古紙の輸入量を2018年の輸入量より2019年には、さらに40%程度減ずると発表しました。

最近の中国の古紙輸入量は、2017年が約2,800万トン、昨年が1,700万トンと減少し本年は1,000万トンから1,050万トンしか許可しないこととなります。

昨年の中国の古紙の市況は輸入量が大幅に減った

ため、中国の国内メーカー間で古紙の買入競争が起き、OCCの価格が値上がりしました。古紙の価格を高めて回収量を増やし、ゴミの処理費を減ずるのが政府の目的と思われます。全種類の再生資源を2020年までに2015年対比1億トン増加してゴミの発生を減ずる様地方政府に要請致しました。

我が国に消費財の梱包材として輸入された段ボールは、日本から商品の梱包材として輸出した段ボールを差し引いて、約160万トン輸入が多い。また、昨年のOCCの日本からの輸出量は199万トン。その内容は、80%が中国向けでした。今年は中国への輸出量が大幅に減るため、中国以外のアジア各国に輸出しなければなりません。毎年1,000万トン以上OCCを中国に輸出していた米国からの昨年の輸出量は550万トンでした。現在、米国の行き場を失ったOCCがアジア各国に安値で輸出されています。

日本国内の主要な製紙メーカーは日本の古紙リサイクルシステムを維持するため、段ボール古紙について何とかしたいと願っております。

近い将来日本の古紙の輸出先が大幅に変わると思われれます。それまで何としても重要な再生資源である古紙のゴミ化を防ぐために良質な古紙を商品化して輸出先を新たに開拓していかなければならないと思います。

②裾物に関する現況「安立 直納部副部長」

国内段ボール原紙メーカーは在庫過多で、7月以降、受注カットを続けています。9月も引き続き横ばい、又は減少で生産調整をしています。雑誌は8月の発生が悪かったが、注文は横ばい。新聞は注文が増えず悪い状態です。

輸出は全体に輸出価格が下がっており、新聞は注文がほとんどなく、売れない状態です。中国輸出は年内の通関期限が11月末か12月1日あたり

で、中国向けに出荷できるのが11月20日頃までとなくなってしまいます。12月の発生期に中国向けに輸出が出来なくなるので大変厳しい状況になると予想されます。

2. 産業古紙の現況「高木 直納部員」

産業古紙の発生は洋紙メーカーの動向にかかわってきます。7月の新聞の国内出荷は前年同月比で5%落ちていますが、印刷情報用紙は1.1%増、衛生用紙も10.3%増となっています。10月の消費増税前の販売増を見込んで生産を増やしています。

8月のあるメーカーの生産と販売は、それほど落ちておりません。ただ、国内製紙メーカーの工場がかなり閉鎖して、紙の供給が滞っており印刷・製本・商印の工場は紙の調達に苦労しています。それに対抗して上質紙の輸入が始まっており、3ヶ月ロットでの購入で、6月の上質コートの輸入は前年同月対比2,133%と高くなっています。輸入紙の関係で国内の紙価格の値崩れを防ぐため、国内メーカーは販売を控え生産調整を考えています。

印刷・製品関係の仕事が減って発生は減少しているが、家庭紙メーカーの生産と販売は好調です。

3. 集荷にかかわる現況「近藤(昌) 副理事長・梨本集荷部副部長」

この情報交換会ではここ何年も同じことを申し上げていますが発生が悪いです。今年は3月の繁忙期を過ぎたあたりから、発生が悪くなっています。働き方改革の影響で印刷・製本会社は、土曜や祭日を休業する所が増えてきました。

集荷先で小さな印刷・製本会社を扱っているが、今年は消費税増税がある割には普段と変わらない状況です。

資源回収業界の現況（東資協）

1. 回収業者の現状

集団回収事業において古紙価格低下は業者存続に関わる大きな問題であり、多くの地域で行政に対し支援金制度設立を要望している。東京都環境局発行「東京の資源循環2013」では、平成24年度23区のうち11区で回収業者に対する支援金制度が設けられているが、現在は制度そのものが無くなっている所もあり、地域業者がその事を知らされていないケースもある事から調査が必要である。

地域住民、行政の信頼を得るためにはコスト高な小規模団体の回収や、回収回数の増加など対応していかななくてはならない。

資源回収事業では、他清掃事業委託業者との兼ね合いから、委託料が多少上昇傾向にあるものの、回収量の減少もあり1kgあたりの処理単価が上昇、減車を検討している地区が増えている。多くの地域で雑がみの資源化に取り組むようになったが、各地域のごみ性状調査を見てみるとまだまだ混入率は高く、禁忌品の徹底分別とともに周知を徹底し回収量増加に努めている。

2. 東資協の取り組み

① 地位向上を目指して

地域住民と触れ合いながら分別協力をお願いし、行政に対しても資源化の重要性をアピールしてきた事が東資協70年の歴史であり、2020TOKYOオリ・パラにおいても分別を世界に発信すべく関係各所に積極的にアピールを行っている。

資源は回収業者が持ち去りに関与しない適正な問屋に運搬し加工する。この基本理念を「レガシィ」とする為、都との話し合いも継続している。

② 集団回収事業存続に必要な活動

良質な資源、地域住民の意識向上、地域の活性化、緊縮財政など資源回収事業より有意義な集団回収

事業の継続、各行政の意識を調査すべくアンケートを実施し、必要に応じ東資協として業者助成の必要性を訴えていく。

③ 持ち去り対策

持ち去り議員連盟への協力だけでなく、地域住民と話し合いも重要と考え、リサイクルイベントに講師として参加し、周知啓発に努めている。情報交換を行いながらその方向性を模索している。

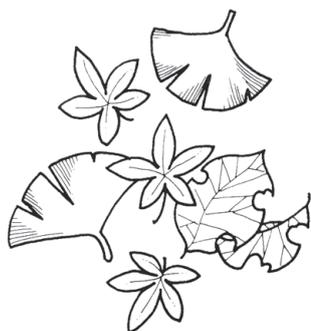
3. 質疑応答

Q—東京協組：

現在の段ボールを中心とした古紙の余剰について、どのような対策をしているのか

A—全原連：

余剰になるのは段ボール古紙だけだと想定していました。ところが大手新聞社の新聞減ページ対策により、新聞古紙の余剰も始まってしまいました。段ボール古紙の余剰対策は、製紙メーカーに段ボール原紙の輸出拡大を要請しました。そして、リサイクルシステムを守るためメーカーは段ボール古紙の仕入価格を維持する見解を示しています。原料問屋には毎月決められた輸出責任数量を依頼し、年間で160万トンの輸出量を維持するようにしてあります。残りの全体の15%は輸出量を各自が昨年と同様に維持するようにしました。



直納部主催海外視察研修 「ベトナム・カンボジア」レポート

文京支部 山下辰彦

2019年10月14日(月)～17日(木)

東京都製紙原料組合

海外視察研修会参加者13名

はじめに、今回、10月13日(日)午前10:00成田発の予定でしたが、台風19号の影響により13日のベトナム行の便が全便欠航となり、14日(月)の午後の便に振替となってしまいました。従いまして、予定が一部(ハイフォン港湾施設視察とハノイ市内観光)中止となっております。

***2日目【10月15日(火)AM10:00～】**
《JPコアレックスベトナム工場視察後、カンボジアへ移動》

JP CORELEX 松下氏、成沢氏にご案内頂き、施設の見学をいたしました。



JP CORELEX(VIET NAM)CO.,LTD

総面積：60,000㎡ 建屋面積：34,000㎡

製品生産能力：80t/日 従業員数：150名

原料の仕入から製品生産・加工そして出荷積みまでを同建物内にて一括で行っており、古紙がトイレットペーパーに変化していく工程がわかりやすいレイアウトでした。

工場内は、仕入・生産加工・梱包・出荷と大きく4つのセクションに分かれており、男女の比

率は、仕入部門が100%男性で、その他のセクションは男女半々で配置されているとの事です。

ベトナムの方々の労働能力についての質問に対し、松下氏によると日本と一緒に個人差があり、出来る人もいれば、手を抜く人もいるがどちらかというと女性の働き者が多いとの事でした。

原料調達には日本のJ-MIXが7割で、その他オーストラリアやイタリアの原料も使用しているようです。また、市内回収も2業者の受け入れをしていて近年は市内回収率も上がっているようです。

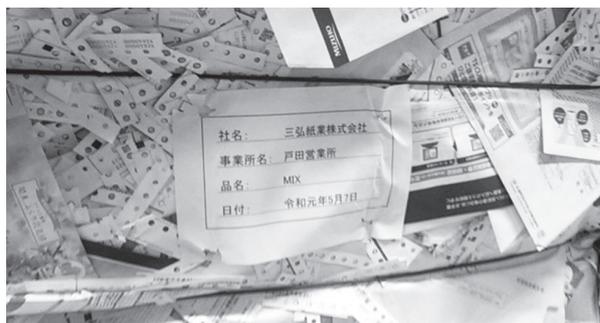


見学時に回収業者が荷降ろしをしていました。車に袋詰め古紙を満載で積んでおり、そのすべてを5名で手降ろししていました。



工場内は綺麗に整理整頓されており、床も紙屑が散乱しているようなこともなく、従業員の方々の安全意識の高さが伺えます。

10月は非発生期という事で、現在はランニング在庫を保っている状況という事でした。



三弘紙業(株)戸田営業所の荷物を発見

ベトナムの方々はリサイクルへの理解がまだ低く、その品質の違いから、より白いパルプ品の人気の方が高いそうです。

コアレックス信栄(株)と同等の設備が入っており、1,800t/月の生産量のうち、50%は原紙のまま輸出、50%はトイレットペーパーを生産。原紙の輸出先は主にオーストラリア・韓国・アメリカ・イタリア等。トイレットペーパーの販売先はベトナム国内が100t程度で、ほとんどが日本向けに販売。



ベトナムの方々にはダブル製品人気は圧倒的で、巻長さよりも重さを重要視される傾向があるそうです。日本製と比べて幅が狭くしっかり巻い

であるのが特徴です。



日本品同等のサイズの物と並べてみました、明らかに小さいですね。重さもベトナム向けの品物の方がずっしりと重く、明確に違いました。ベトナムはバイク社会の為、購入し持ち帰るのにバイクに積みやすいように平たく梱包されています。



コンテナ内に何人かでバラ積みしていました。最後に松下氏、成沢氏の現地での生活について治安が良く、食事も日本人の好みに合うものが多いのでその点は良いが、バイクや車が多く、他人に気を使わない国民性が非常にストレスを感じるなどの事でした。確かに、ホテルからこちらに移動の際、バイクの多さには私もびっくりいたしました。しかも交通ルールもあってないような感じ。信号無視や逆走も当たり前。我々日本人の常識では考えられない道路状況を目の当たりにし、ご苦労感じました。

お忙しい中、お時間を割いていただき誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。この後、ハノイ市内で昼食を取り、カンボジアに向うべくハノイ空港に直行です。

日程が短縮された影響で、スケジュールがタイトになっています。カンボジア・シェムリアップ空港到着はPM5時頃の予定です。

しかし、ベトナムからカンボジアに向かう際、飛行機の機械トラブルにより、離陸後1時間弱でハノイ空港に戻るといったトラブルに見舞われました。その後1時間弱で別の機に乗り換えて出発し、予定より2時間遅いPM7時頃に無事カンボジア・シェムリアップ空港に到着いたしました。

*** 3日目【10月16日(水) AM9:00～】**

《カンボジア、アンコールトム等観光》

3日目にして最終日。この日は天気も良く観光日

和。私の体感では気温 32 度位。日本の暑さと違い湿度が低く爽やかな暑さを感じました。日本は涼しくなり始めた時期でしたので、懐かしい感じ。



9千人～1万5千人で30数年かけて造成された巨大な建築物。80キロ離れた場所から建築に使用する砂岩を象で運んだそうです。現地ガイドさんのわかりやすく興味深い説明を聞きながら、石造りの壮大な建築物を前に、建築当時の途方もない作業の光景が目浮かぶようでした。やはり当時も女性の方が働き者が多かったのでしょうか。

観光を終え、ホテルを18時にチェックアウトし帰国すべくシェムリアップ空港に向かいます。成田空港到着は翌日8時です。

今回、東京都製紙原料協同組合の視察旅行に初参加させて頂きました。参加された皆様に温かく迎えて頂き、弾丸ツアーとなりましたがそのすべてが良い思い出となりました。

貴重な体験をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

理事就任の挨拶



台東支部 近藤達也

本年度より理事に就任いたしました、台東支部山仁紙業株式会社の近藤達也と申します。

台東区で生まれ育ち、祖父の代より商売を始め、私で三代目になります。組合活動に参加させていただき約10年になります。

古紙原料業界は、電子化、輸出問題など様々な社会情勢の変化に伴い厳しい状況です。

今までの経験を生かし微力ながら努力させていただきたいと思えます。よろしく願い申し上げます。

理事就任の挨拶



山手支部 徳永裕司

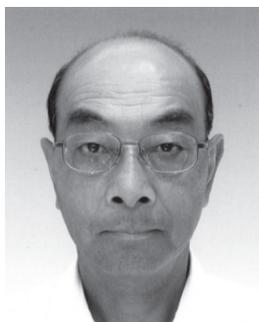
皆さま初めまして。この度理事に就任しました山手支部の徳永裕司と申します。

私は平成4年より叔父の後を受け継ぎ(有)徳永商店を運営しております。当時はバブル崩壊後で古紙業界も大変な時期でした。私たち集荷業者はお得意様から逆有償という形で古紙を回収してまいりました。その後、古紙業界も景気が徐々に回復し平成という時代を生き抜きました。

しかし時代は終わりペーパーレスへ移行していき
ました。その後、地域の製本・印刷は衰退し業界
から退いていきました。これから先、集荷業者と
いたしましては令和の時代がどのように変化して
いくのか先行きが不安定となっています。

これから先、山手支部員と共に意見交換をなが
ら組合本部との連携を図り、少しでもこの業界が
発展するよう微力ではありますが努力して参りた
いと思います。

集荷部長就任の挨拶



山手支部 鈴木邦浩

本年度より集荷部長を拝命致しました山手支部
の鈴木邦浩でございます。

混迷する国際情勢、諸外国の政策によって私たち
の取り扱う古紙の市況も大きく影響を受ける時代
となってまいりました。一方、国内に目を向けれ
ば出版不況が言われ続け、その市場規模は縮小の
一途をたどっております。外因による需給や相場
の不安定さ、出版不況による産業古紙の発生減。
この様な厳しい状況の中、集荷業者がどのように
立ち向かっていけるのか皆様方のお知恵をお借り
しながら微力ではございますが力を尽くして参り
たいとおもいます。

多くの事は出来ないかもしれませんが、皆様方
に有益な企画や情報を伝えられればと考えており
ます。どうぞ宜しくお願い致します。

広報部長就任の挨拶



足立支部 高橋宏明

この度、広報部長に就任しました高橋宏明で
す。前広報部長の清水さんから「表の顔(表舞台)」
から「裏の顔？」ではなく、副部長としてサポー
トするからと言われました。本当なら若い自分で
はなく、知識や経験豊富な諸先輩が多くいる中、
大任を仰せつかって大丈夫なのかと不安しかあり
ません。

でも、皆様の協力の元、頑張っていきたいと思っ
ています。また、組合員の皆様に広報誌が有って
良かったと言われるよう頑張ります。まだまだ未
熟であります、何卒宜しくお願いします。

青年部納涼会を開催

足立支部 新井正樹

青年部の納涼会を8月20日、池袋パルコ屋上
のビアガーデンにて開催しました。

本日は朝から曇り空で途中、日中は雨になり、
18:00から開始のビアガーデンも開催が危ぶ
まれた中、直前で雨が上がり、無事に開かれまし
た。開始しても空模様はあやしくいつ雨が降って
もおかしくない状況でした。乾杯の発生のあとも
一同不安を募る中、無事に雨に降られることもな
く終了。肝心の会の中身は今年より幹事長になっ
た近藤幹事長を中心に大いに盛り上がる会となっ
た。お酒と食べ物と和やかな話が非常にスムーズ
に進むことでお開きになり、中締めという運びに
なりました。

2次会は1次会の盛り上がりそのまま、カラオケ店に移り、ここでも終始盛り上がりを見せる中、終了した。市況は残念ながら悪くても気分は盛り上がりを見せながら、今後の景気を上向きにできるパワーを感じた会となった。

東資協青年部との懇親ゴルフ

城北支部 工藤嗣人

東京都資源回収事業協同組合・青年部と東京協組・青年部合同ゴルフコンペに、参加させていただきました。台風19号の影響で、ゴルフ場が変更となりましたが、今回は無事に開催となりました。当日は、秋晴れの「入間カントリー倶楽部」INスタート2組にてラウンドとなります。コース内容は、埼玉とは思えないアップダウンの連続、

また前半は3時間コースとなってしまいました。皆さんケガ無くホールアウトできました。

池袋にそれぞれ移動し、引き続き合同懇親会となりました。池袋の青龍門にて行われ表彰式となり、3位に美濃紙業(株)近藤幹事長。準優勝は新井紙材(株)望月さん。ハンデにも恵まれ、私は優勝をいただきました。ありがとうございました。



清風会について



清風会会長 近藤 勝

まず「清風会」の歴史について50周年記念誌で調べてみました。なぜか何処にも記載がなく、平成6年のページに組合の「OB懇親会」という36名の集合写真がありました。恐らく設立はその後で現在まで25年位続いている事になります。組合員数が当時より半減している中、従来と同じ形で懇親会とゴルフコンペを続けて参りましたが、現在は殆どOBの参加は無く現役が中心となっております。本年、令和という新時代に入り何か新しい形がないか模索している時、理事会で改めて清風会の在り方について議論された事は大変意義のある事だと感じました。今後、現役理事の意見を聞きながら組合行事とは違う特色ある会を目指したいと考えております。懇親会については種々意見がありますが、状況に応じて講演会を共催、ゴルフ会に於いては春に一泊、秋は日帰り、と組合行事と重ならないよう調整しながら当面は進めて参りたいと思います。皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

清風会ゴルフコンペ

10月24日(木)美浦ゴルフ倶楽部で行われた清風会ゴルフコンペは8名が参加しました。

有終の美を飾って優勝されたのは自ら主宰の近藤(勝)会長でした。おめでとうございます。

TPICO維持更新研修会

TPICOの令和元年度維持更新研修会が9月19日と10月9に行われました。34社41名が研修会に参加され維持更新となりました。

尚、今年の認定講習会は、申込者が一人もなく実施出来ませんでした。

支部便り

山手支部研修旅行

山手支部 中谷浩康

9月7日(土)～8日(日)に恒例の研修旅行を実施しました。

今回は、宮城県の松島海岸へ行きました。参加者は4名です。現地に着くと東京以上に暑く、その中で松島湾内一周観光船に乗り瑞巖寺を拝観しました。汗だくになったので旅館では、ゆっくりと温泉に入りました。宴会では鈴木支部長の挨拶で始まり、美味しい食事で盛り上がりました。

翌日も暑い中、仙台市内の伊達政宗公霊屋の瑞鳳電を観覧して、美味しい魚料理の昼食を食べ、帰京しました。

今回は、歴史を学べて充実した研修旅行となりました。景気が少しでも良くなり、次回は少しでも多くの支部員の参加が有る事を望んでいます。

お疲れ様でした。



組合員の広場

「ながら運転」反則金3倍に

広報部長 高橋宏明

スマートフォンなどを使用しながら車を走行させる「ながら運転」を厳罰化した改正道交法が施行されるのに伴い、警察庁は反則金を3倍程度に引き上げる改正道交法施行令案を公表した。違反点数も3倍になる。

施行令案は、車やミニバイクを運転中に携帯電話で通話したり、スマホを注視したりする違反「携帯電話使用等(保持)」の点数を1点から3点に、通話や注視によって交通の危険を生じさせる違反「携帯電話使用等(交通の危険)」は2点から6点に引き上げた。

「保持」の違反金は「大型車」が7千円から2万5千円に、「普通車」は6千円から1万8千円、「二輪車」は6千円から1万5千円、「原付車」は5千円から1万2千円とする。

「交通の危険」は、軽微な違反は反則金を納めれば刑事責任を免れる交通違反通告制度の適用から除外。直ちに刑事手続きの対象となるため反則金の規定をなくした。

組合員のメリット

全体

1. 市況情報の入手
2. 組合員証明書の発行
3. 支部会の参加
4. 総会の参加
5. 新年会の参加
6. 他団体との懇談会の参加
7. 従業員表彰への参加

- 8. ゴルフコンペへの参加
- 9. 若手従業員の青年部加入

割引利用

- 1. 団体生命保険への割引加入
- 2. 団体傷害保険への割引加入
- 3. 自動車共済保険の割引加入
- 4. ガソリンの割引購入
- 5. 高速道路の割引利用、ポイント利用
- 6. プレス機のオイル交換の割引利用
- 7. 「丸大食品」贈答品の割引購入
- 8. 「たのめーる」による文房具の割引購入

全原連関係

- 1. 古紙再生資源化証明書の利用
- 2. 古紙商品化適格事業所の資格取得
- 3. 古紙リサイクルアドバイザーの資格取得
- 4. J-BRAND表示ラベルの購入

関係団体

- 1. 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会の参加
- 2. 製本工組との懇談会参加
- 3. 東資協との懇談会参加
- 4. 古紙再生促進センター関係行事の参加
(古紙リサイクルセミナー他)

直納関係

- 1. 直納部委員会の参加
- 2. 共販輸出への参加
- 3. 海外研修の参加 (集荷部参加可能)
- 4. 直納部納涼会・忘年会の参加

集荷関係

- 1. 集荷部委員会の参加
- 2. 集荷部新年会の参加

広報関係

- 1. 広報誌の入手 (各種情報の入手)
- 2. 広告の有料掲載 (暑中・年賀)

組合認定制度

- 1. TPICO(ティピコ)個人情報保護体制制度の取得

[共同購入]

プレス機のオイル交換について

共同購入委員会

共同購入事業のプレス機のオイル交換の時期がやってまいりました。

組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。すでに実施した事業所では、処理のスピードや細かな対応について高い評判を頂いております。

見積もりを取って比較した結果を見て頂けると分かりますが、**1,000リッターのオイル交換で・約5万円近い差が出ております。**

又、日曜、祝日、朝早い時間等の作業も可能です。どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「**プレス機オイル交換申込書**」を受取り、**必要事項**をご記入し組合宛てにお送り下さい。

交換時のレート(2ヶ月に1度変更されます)は、申込書の送付時にご連絡いたします。又、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

[都市近代化事業組合の事業利用について]

①ETCカード

指定の高速道路が割引運行出来ます。

首都高速の割引利用が出来る事になりました。

(ご利用の場合は新しいカード作成が必要です)

ポイント可の高速道路でポイントが貯まると、そのポイント分が無料走行で使えます。

②「ガソリンカードのご利用」について ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリンや軽油を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・**全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円ほど安く、特に軽油が約9円ほど安く購入できます。**

(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)

専用のカードを作り、該当するスタンドで使用すると自動的に割引料金でカード決済されます。

③自動車共済保険

現在、割引を受けている保険料から、さらに約**20%ほどの割引いた保険料となります。**

④カーリース事業

提携リース会社を利用する事により有利なリースが可能となります。

組合員であれば、どなたでもご利用できます。

[各種団体保険]

①**生命保険** (団体保険の割引加入)

②**損害保険** (団体保険の割引加入)

プレス機のオイル交換、ETCカード、ガソリンカード、自動車共済保険、カーリース事業、各種団体保険のいずれも、東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の皆さまの特典です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

連絡先： 東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

♪ことわざミニ知識♪

「鬼の首を取ったよう」

まるで鬼を討ち取ったとでもいうように、と言う意味で、偉業を成し遂げたと言わんばかりに得意になること。

支部スケジュール

千代田支部

未定

文京支部

忘年会 12月18日(水) 池袋「かこいや」

支部会 2月18日(火) 東明飯店

台東支部

支部会 12月・1月は休会

荒川支部

未定

足立支部

未定

山手支部

忘年会 12月21日(土) 鮎やなぎ

支部会 2月18日(火) 鮎やなぎ

城南支部

忘年会 12月 7日(土) 場所未定

江墨支部

忘年会 12月20日(金) 亀戸すし屋の弥助
支部会 12月・1月は休会

城北支部

忘年会 12月 3 (火)
赤羽「ビストロカリブ」
支部会 1月・2月は休会

◎直納部委員会及び忘年会

令和元年12月17日(火)
場所： 根岸「宮川」
午後5時～直納部委員会
午後5時30分～忘年会

◎組合事務局・年末年始休暇

令和元年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)

◎第15回組合合同新年会

令和元年1月18日(土)
午後6時～
場所：上野・精養軒

お 知 ろ せ

[12月会議・催事予定]

12月 5日(木) 常任理事会 (pm3:30~)
理事会(pm4:30~)上野・東天紅
" 清風会 講習会(pm5:30~6:30)
" 清風会 忘年会 (pm6:30~)
12月14日(土) “紙リサイクル”コンテスト表彰式
ホテルグランドパレス
12月16日(月) 関東地区委員会 (pm2:00~)
センター会議室

12月17日(火) 直納部忘年会・根岸「宮川」
直納部委員会 (pm5:00~)
忘年会 (pm5:30~)

12月28日(土)～1月5日(日)事務局年末年始休暇

[古紙価格]**[東資協の古紙4品の標準売値]**

令和元年10月9日現在

新聞	7円～10円(横ばい)
雑誌	4円～6円(横ばい)
段ボール	6円～8円(下降)
色上(並)	—

[組織変更]

・文京支部(株)パルコム 代表者変更
代表取締役社長 山田 明男 様 令和元年9月より

会議概要 [9月・10月]

9月度定例理事会

[令和元年9月4日(水)]
於) 製紙原料会館・会議室
出席理事22名・監事0名

理事長挨拶

7月清風会研修会の杉山税理士の話で、日本の現場での仕事は世界でトップクラスだがホワイトカラーが少ない。そして、ITでは後れをとっているとの事でした。古紙業界は世界でトップクラスの現場での仕事をしているが、利益が出ない矛盾を抱えているとのこと。ここを何とか乗り越えて頑張って行けたらと思います。本日もよろしくお願い致します。

[各部報告]**[直納部]**

9月度の共販輸出は、上物及び裾物（段ボール・ミックスとも）に関して、輸出業者3社共に「市況が不透明で対応が厳しいので、販売先を確保できない」との理由から入札辞退の申し出があり入札不可となりました。

輸出市況について：

上昇していた輸出価格が一転急落しています。米中貿易摩擦の影響もあり中国国内の需要が低迷しているのが一番の要因ですが、中国洋紙メーカーの輸入ライセンス剥奪やインドネシアの輸入規制等の不安定要素が重なり、7月に上昇していた輸出市況が大幅に下落しています。

[新聞・雑誌・段ボール]

新聞：発生は引き続き低調。メーカーは洋紙の減産により購入量を調整しており、荷余り感があり先行き不透明感となっていて弱含みが継続。

雑誌：雑誌の発生は低調。需給は段ボール古紙からの配合変更もあるため他品種に比べ引合いは良好。

段ボール：段ボールの発生は堅調。メーカーは原紙輸出減による在庫増の影響の他、輸入紙が入ってきている影響で減産傾向。古紙の輸出についてもオファーが少ない上、国内価格を大きく下回り弱含みで推移。問屋は在庫を持ったまま推移し、厳しい環境が続くとの見通し。

[上物]

8月お盆休みを挟み比較的日数が少なかったの

で、発生が少なかったように感じられました。洋紙は需要が大きく落ち込み、メーカーによっては新聞用紙を含む出版用紙等の印刷用紙全般が9月以降10%以上減少する所が見受けられました。新聞用紙の古紙配合による減配が続く中、合わせて配合される産業古紙が減配になってくる状況となり、タイト感からルーズ感となっています。

家庭紙メーカーの生産は順調に推移していますが、製品在庫が増えてきたメーカーも見受けられます。主要3品の荷動きの鈍化につれて、メーカーへは雑誌の選別でいい物とか、選別して込頁になった物の売込みをする業者が散見されます。

[オフィス古紙] 8月の発生は減少しています。メーカーの消費税増税による実質的な動きは、まだ出ていないようです。

[返本関係] 東販関係の業者より7月期出版物の販売が3ヶ月ぶりに前年同月比を4%上回ったとの報告がありました。

内容は書籍が9.6%プラスで雑誌がマイナス1.2%でした。返品率は書籍が39.9%、雑誌が43%。古紙の発生は前年対比83%でピークの半分に以下に落ち込んでいます。

[集荷部]

産業古紙の発生状況は良くない。8月から9月の初めにかけて商印関係で少し動きがあるが、依然として出版・製本関係は低調な状態です。

[広報部]

広報9月号の準備中です。まだ原稿を提出されていない方は、早急に原稿を出すようお願いします。8月に70周年記念座談会を広報部主催で行いました。その内容を3回に分け（9月号・11月号・来年3月号）広報誌に掲載予定です。

[青年部]

7月17日に部会を開催予定です。

10月に東資協青年部との勉強交流会を予定しています。

8月に17名ほどが集まり池袋パルコの屋上バーベキューで納涼会を行いました。

[支部報告]

文京支部：8/19 納涼会、9/18 支部会予定、

台東支部：9/20 組合会議室 支部会予定

荒川支部：8/11 納涼会、9/10 支部会予定、

足立支部：古紙ジャーナルを呼び勉強会を開催予定。

山手支部：8月第一土曜日に従業員家族慰安会を
椿山荘で行った。今週末に研修会を松島で行う予定。
城南支部：9/14 支部会予定、江墨支部：9/20
支部会予定、城北支部：9/24 支部会予定

[審議・検討・報告事項]

1. パソコンに関するアンケート・・・

組合員158名中 回答組合員118名
会社でパソコンを使用して業務を行っている会社
が、101社との回答だった。

2. 清風会親睦会（納涼会・忘年会）の開催改定
について・・・次回開催よりコンパニオン会社を
変更する。

3. 組合脱退：城北支部（株）久保田商店（代表
者 栗原 智恵）会社縮小の為 平成31年3月
31日付

江墨支部 ビルサービス(株)(代表者 赤澤泰正)
廃業の為7月31日付・・・・・・上記2件は原
案通りで承認

古紙センター業務委員会

[令和元年9月11日(水)] pm2:15～

於) 古紙センター会議室

[1] 集団回収実施団体への感謝状贈呈について
(中部地区委員会推薦)

[2] 諸外国における古紙輸出動向

①米国・EUからの古紙輸出

②アジア諸国の古紙輸出

③中国の古紙再生パルプ輸入

[3] 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係で割愛させていただきます。

古紙センター関東地区委員会

[令和元年9月18日(水) pm4:00～

於) 古紙センター会議室

[需要動向] 19 / 8月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	43,059(94.9%)
	出荷	41,309(90.4%)
	在庫	14,686(35.6%)
[雑誌]	仕入	38,146(94.1%)
	出荷	37,439(93.8%)
	在庫	10,138(27.1%)
[段ボール]	仕入	142,023(101.0%)
	出荷	139,809(99.2%)
	在庫	32,486(23.2%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	143,337(93.4%)
	消費	154,366(89.7%)
	在庫	105,405(68.3%)
[雑誌]	入荷	112,431(104.8%)
	消費	105,495(95.9%)
	在庫	52,004(49.3%)
[段ボール]	入荷	309,519(94.8%)
	消費	295,997(90.8%)
	在庫	132,194(44.7%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

32社報告の8月古紙仕入は前月比で3品ともに
減少し、前年比で段ボールは増加し、新聞、雑誌
は減少した。在庫は前月比・前年比で3品とも
に増加した。

・三紙会報告の8月古紙仕入は前月比・前年比で
3品ともに減少した。9月の仕入れは前年比で
3品ともに減少する見通しである。

[上物古紙]

・8月の上物古紙在庫は、家庭紙向けケント・色
上、DIP向けケント・色上が前年比で増加した。
8月の発生は低調だったが、メーカーの消費も
抑制気味だったこともあり、古紙在庫に不足感

はないが、家庭紙メーカーの秋の需要期に向けて十分な在庫量であるかは不透明である。また、一部家庭紙メーカーでは古紙物からパルプ物に切り替える傾向もみられる。

[メーカー側コメント]

- ・8月の新聞の発注は休転のため減少、入荷は概ね計画通りで一部減少、消費は概ね計画通りで、在庫は減少した。9月の発注は休転が明け一部増加したメーカーもあるが概ね減少、入荷は計画通り、消費は概ね計画通りだが台風の影響を受け一部メーカーで減産し、在庫は減少する見通しである。10月の発注は微増となる見通しである。
- ・8月の雑誌の発注は休転のため減少、入荷は計画通り、消費は減少し、在庫は増加した。9月の発注は休転が明け増加したメーカーもあるが概ね微減、入荷は計画通り、消費は一部メーカーで増減のバラツキはあるが概ね横ばい、在庫は減少する見通しである。10月の発注は微減の見通しである。
- ・8月の段ボールの発注は休転のため前月比で減少、入荷は順調、消費は休転等のため減少し、在庫は増加した。9月の発注は抑制から横ばい、入荷は順調で荷止めを行うメーカーもあった。消費は抑制するメーカーもあり減少、在庫は横ばいから増加の見通しである。10月の発注状況は未定であるが増加となる見込みは薄い。

10月度定例理事会

[令和元年10月3日(木)]

於) 製紙原料会館・会議室

出席理事22名・監事0名

理事長挨拶

現在の状況を丁寧取引先に説明して利幅を確保し、会社の維持に繋げるように努めていただきました

い。それが、今後の業界発展の基礎ともなるので宜しくお願い致します。

[各部報告]

[直納部]

10月度の共販輸出は、上物及び裾物（段ボール・ミックスとも）に関して、輸出業者3社共に「市況が不透明で対応が厳しいので、販売先を確保できない」との理由から入札辞退の申し出があり入札不可となりました。

古紙市況はダウントレンドで推移しています。

輸出状況：10月10日頃、50万トンのライセンス輸出許可が出るとの事。基本的にはアメリカからの輸出が多く、日本にはあまり廻ってこない模様。中国への輸出は11月20日頃までで、12月・1月・2月までは輸出出来ない模様なので段ボール古紙が大変な状況となってしまうのではないかと。

[新聞・雑誌・段ボール] 新聞の発生は引き続き低調。メーカーは洋紙の減産により購入量を調整しており、荷余り感があり先行き不透明となっていて弱含みが継続。輸出量は昨年同月比34%減で新聞の輸出価格は雑誌よりも低い状況。

雑誌の発生は低調。需給は段ボール古紙からの配合変更もあるため他品種に比べ引合いは良好。輸出量は昨年同月比22%減。

段ボールの発生は堅調。メーカーは台風の影響で操業が上がっていない。原紙輸出減による影響で減産継続。

古紙輸出はオファーが少ない上、輸出価格は国内価格を大きく下回り弱含みで推移。問屋は在庫を持ったまま推移し、厳しい環境が続くとの見通し。輸出量は昨年同月比19%減。

[上物]

上物古紙の発生は低調に推移。洋紙はパルプが安くなってきた事と製本・印刷業界の不況により使用量が大幅に減少。

家庭紙の生産は比較的好調。衛生用紙の国内出荷が10.3%増で荷動きが比較的好い。

[オフィス古紙] 発生は減少しています。

[返本関係] 8月より直営のコンビニ店の成人誌が大きく減少しています。

6月以降、雑誌・コミック・書籍の販売の落込みが底をついたように思われます。

[集荷部]

産業古紙の発生状況については、例年の9月に比べると多かった。消費増税の影響が関係してか、商印関係と紙器関係の発生が特に多かった。製本関係は昨年並みでした。

取引先に対して現在の古紙に関する状況説明を文書化して配布できるよう作成して欲しい。

集荷に問屋の方が同行し取引先に対し状況説明するのも、ひとつの方法としてあるのではないか。

[広報部]

9月27日に広報委員会を開催し、広報11月号の打合せをしました。「時の視点」では前月号に引き続き、70周年記念座談会の第2回目を掲載します。「時の話題」では直納部主催の海外研修(ハノイ・コアレックス見学)を掲載予定です。他に、青年部で東資協青年部との合同ゴルフ会と清風会ゴルフコンペを掲載予定です。「支部だより」では支部忘年会の掲載予定です。組合で集荷と直納の取引先に対して要望書を作成する。清水広報副部長が原案を作成する。

[青年部]

10月23日に東資協青年部との合同ゴルフ会を開催予定です。

11月12日(火)～13日(水)工場見学会「京都・大津板紙(株)」

12月17日(火)忘年会開催予定。

[支部報告]

文京支部：12/18忘年会、台東支部：11/21忘年会ビューホテル、荒川支部：12/10忘年会

城南支部：12/7忘年会、城北支部：11月最終週

[審議・検討・報告事項]

1. 清風会研修会 講演者 新聞社 古紙ジャーナルによる市況説明
2. 弔事に関する規定：従来通り、一親等に限り組合より香典、供花、弔電、組合員への連絡。連絡だけは組合員より依頼があれば可能とする。但し、故人の役職を明記する。

古紙センター関東地区委員会

[令和元年10月23日(水)] pm2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 19/9月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	42,458(96.2%)
	出荷	44,126(98.1%)
	在庫	13,016(29.5%)
[雑誌]	仕入	37,627(99.0%)
	出荷	38,500(99.6%)
	在庫	9,265(24.1%)
[段ボール]	仕入	143,741(103.6%)
	出荷	143,001(102.7%)
	在庫	33,226(23.2%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	144,216(93.6%)
	消費	144,478(94.3%)
	在庫	104,898(72.6%)
[雑誌]	入荷	117,612(110.8%)
	消費	120,112(108.4%)
	在庫	48,173(40.1%)
[段ボール]	入荷	322,973(98.9%)
	消費	331,626(96.0%)
	在庫	123,519(37.2%)

[業者側コメント]**[新聞・雑誌・段ボール]**

- ・32社報告の9月古紙仕入は前月比・前年比ともに段ボールは増加し、新聞・雑誌は減少した。在庫は前月比で段ボールは増加し、新聞・雑誌は減少し、前年比で3品ともに増加した。
- ・三紙会報告の9月古紙仕入は前月比で段ボールは増加し、新聞・雑誌は減少した。前年比で段ボール・雑誌は増加し、新聞は減少した。10月の仕入れは前年比で3品ともに減少する見通しである。

[上物古紙]

- ・9月の上物古紙在庫は、家庭紙向けオフィスmixを除き前年比で増加した。9月の発生は紙の払い出しが少ない分、低調であるが家庭紙向けの古紙使用は順調であり、冬の需要期も控える中で在庫は減少する見込みである。

[メーカー側コメント]

9月の新聞の発注は休転明けで一部メーカーでは増加したが概ね減少、入荷は計画通りから台風の影響を受け一部減少、消費は減少し、在庫は微増となった。10月の発注は微減、入荷は台風の影響を受け減少傾向、消費は減少し、在庫は増加する見通しである。

9月の雑誌の発注は新聞同様、休転明けの一部メーカー以外は概ね減少、入荷は微減、消費は台風の影響を受け減少し、在庫は微減となった。10月の発注は微減、入荷は減少、消費は減少傾向で、在庫は微減となる見通しである。

9月の段ボールの発注は抑制から戻し増加、入荷は順調、消費はやや順調で、在庫は減少した。10月の発注は抑制気味、入荷は順調で一部荷止めを行うメーカーもあった。消費は低調で、在庫は減少から横ばいとなる見通しである。11月の発注状況は年末に向けた在庫調整のため抑制の見通しである。

古紙センター業務委員会

[令和元年10月28日(月)] pm2:15～
於)古紙センター会議室

- [1] 令和元年紙リサイクルセミナー
- [2] 集団回収実施団体への感謝状贈呈について
(近畿地区委員会、中・四国地区委員会推薦)
- [3] 「全国小中学校“紙リサイクル”コンテスト2019」の応募結果
- [4] 降雨による古紙ベール荷崩れ防止対策
- [5] アメリカ西海岸紙リサイクル状況調査報告
- [6] 諸外国における古紙輸出动向
- [7] 2019年10月～3月段ボール・新聞・雑誌の消費計画 *最終ページを参照
- [8] 古紙の需要・市況動向について
*ページ数の関係で割愛させていただきます。

編集後記**広報部副部長 辻 忠敏**

今期より広報部副部長として活動しております。すべて初仕事で、一から教わりながら足手まといにならぬ様活動しますのでよろしくお願ひします。

今までは読む側の見方でしたが、現状の我が業界も変動が大きく、広報編集の時と皆さんのお手元に届いた時のタイムラグを強く意識させられる編集となりました。

本年は有難うございました。新しい年が皆さまにとって良い年であるよう祈って居ります。